都市再生整備計画（第4回変更）

燕（つばめ）地区

新潟（にいがた）県　燕（つばめ）市

平成28年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県（にいがたけん）	市町村名	燕市（つばめし）	地区名	燕地区（つばめちく）	面積	130 ha

計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 29	交付期間	平成 24 年度 ～ 平成 29 年度

目標

大目標：安心し、快適に暮らせる魅力あるまちづくり

目標1：浸水被害の少ない安全な市街地を形成する

目標2：快適に暮らすことのできる環境を整備する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本市は、越後平野のほぼ中央、県都新潟市と長岡市の中間に位置している。

その中で本地区は、地区内に上越新幹線燕三条駅、北陸自動車道三条燕ICがあるとともに、主要国道289号、ＪＲ弥彦線なども整備され、広域的な交通網の結節点となっている。

また、本地区は、信濃川と中ノ口川に挟まれた市街地であり、平成16年7月の集中豪雨や、平成23年7月の新潟福島豪雨において浸水被害が発生するなど、度重なる被害に見舞われ、水害に対して脆弱な状況となっている。

このような状況の中、燕市では燕南部地区において都市再生整備計画を策定し、平成19年度よりまちづくり交付金による総合的なまちづくりを展開し、中心市街地にふさわしい、防災性の高い、活気と活力あふれるまちづくりに取り組んできた。

しかしながら、平成23年7月の新潟福島豪雨にみられるように降雨量が大きな場合、対応ができず浸水被害が発生するなど、更なる浸水被害の軽減に向けた対応が求められている。

このように、度重なる浸水被害の対策に向けて、須頃郷（すごろごう）地区排水対策検証会が組織され排水対策の強化に向けた検討が行われ、この検証会の報告を受け更なる排水機能の強化を行っていく必要がある。

また、交通利便性の高い地区であり宅地化が進んでいるため、暮らしやすい環境整備が求められている。

課題

「安心して快適に暮らせる魅力あるまちづくり」の実現に向けて、降雨時の浸水被害の軽減を図り、安心して暮らせる環境整備を行っていく必要がある。

・降雨時においても安心して暮らすことができる浸水被害の軽減に向けた排水機能の強化が必要である。

・地区住民が快適に暮らすことのできる環境整備が必要である。

将来ビジョン（中長期）

「燕市総合計画」

【市の将来像】：人と自然と産業が調和し、進化する燕市

【まちづくりの方針】

・災害に強く、魅力ある住環境の整備

　水害や地震など、災害への備えを行うことにより、市民が安心して暮らすことができる住環境を整備することが位置付けられている。

・快適で安全な都市基盤づくり

　利便性や安全性に十分配慮した道路・歩道の整備を推進するとともに、市民の憩いの場としての公園の整備を行うことが位置付けられている。

・市民の主体的な参画の推進

　誰もが主体的にまちづくりや市政に参画できるよう機会の充実を図り、情報提供や情報共有を十分に行うとともに、まちづくり協議会をはじめＮＰＯやボランティア団体などの市民活動の活性化を図ることが位置付けられている。

目標を定量化する指標

指　標	単 位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
須頃郷（すごろごう）地区の浸水予想区域面積	ha	須頃郷地区において集中豪雨発生（燕市雨水計画49.9mm/h）した場合の浸水被害が予想される区域の面積	防災性の高い安全な市街地の形成に向けて、雨水排水対策など、浸水被害の軽減策を実施し、浸水区域の範囲を減少させる	38.5	平成23年度	12.5	平成29年度
公園利用者数の増加	人	区域内公園の休日の利用者数	公園を整備することにより、地域住民により利用が促進される。	60	平成23年度	170	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1：局地的豪雨に対しても被害を軽減させるための雨水排水機能の強化 ・須頃郷地区の幹線排水路の流下能力を上げるための水路改修を行う。 ・近年の降雨状況に対応するため、公共用地等（公園等）を活用して調整池の設置を行う。	・須頃郷一号排水路改修（基幹事業、燕市） ・調整池（須頃郷第2号公園他2箇所）（基幹事業、燕市） ・事業効果分析（提案事業、燕市）
整備方針2：快適な暮らしの実現に向けた住環境の整備 ・快適な暮らしの実現に向けて、土地区画整理事業で用地確保され未整備な公園の一部について整備を行う。 ・し尿処理施設中越衛生処理場の跡地を利用して公園整備を行う。	・東町4号線（基幹事業、燕市） ・須頃郷第2号公園（基幹事業、燕市） ・須頃郷第3号公園（基幹事業、燕市） ・須頃郷第6号公園（基幹事業、燕市） ・（仮称）東町公園（基幹事業、燕市） ・公園整備住民懇談会（提案事業、燕市） ・事業効果分析（提案事業、燕市）
・	

その他

・今回目標とする雨水排水機能の強化は、一級河川中ノ口川の上中下流域の河川バランスによる計画排水量を考慮した内水対策であり即効性のある対応を中心に行うものであり、引き続き浸水被害を軽減するための対策を検討し、必要な措置を講じる。

・（仮称）東町公園の整備にあたり、住民説明会を開催するなど地域住民の意見集約を行い、まちづくりへの関心・意識を高めていく。

・公園整備後の管理運営については、現在須頃郷第2号公園の管理を行っているNPO法人「ネットワークみどり緑」との連携・協働を検討するなど、公共空間における緑の演出を通じて地域住民が主体となった継続的なまちづくり活動へと展開を図る。

様式3　目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	2,182	交付限度額		国費率	872.8

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路		東町4号線	燕市	直	L=300m	25	25	25	25	20	20	20		20	—
公園		須頃郷第2号公園	燕市	直	A=3,115㎡	27	28	27	28	2	2	2		2	—
公園		須頃郷第3号公園	燕市	直	A=2,185㎡	26	26	26	26	3	3	3		3	—
公園		須頃郷第6号公園	燕市	直	A=1,898㎡	24	25	24	25	24	24	24		24	—
公園		（仮称）東町公園	燕市	直	A=16,327㎡	24	27	24	27	180	180	180		180	—
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		須頃郷一号排水路改修	燕市	直	L=620m	24	28	24	29	520	520	520		520	—
地域生活基盤施設		調整池設置	燕市	直	N=3箇所	24	28	24	28	1,429	1,429	1,429		1,429	—
高質空間形成施設															
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業（高次都市施設）															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										2,178	2,178	2,178	0	2,178	…A

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業															
事業活用調査	事業効果分析		燕市	直	ー	28	28	28	29	3	3	3		3	
まちづくり活動推進事業	公園整備住民懇談会	（仮称）東町公園	燕市	直	ー	24	24	24	24	1	1	1		1	
合計										4	4	4	0	4	…B
													合計(A+B)	2,182	

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
合計											0

都市再生整備計画の区域

燕地区（新潟県燕市）	面積	130 ha	区域	佐渡、小高、東町、井土巻1～5丁目

都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

燕地区（新潟県燕市）

燕地区（新潟県燕市） 現況図

交付限度額算定表（その1）

燕地区　（新潟県燕市）

要綱第5に掲げる式による交付限度額（X）	872.8	百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額（Y）	43,301.0	百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	872.8	百万円

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 520,000

公共施設の上限整備水準

区域面積（㎡）			1,300,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合		区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区	0.45
	○	その他の地域	0.40

Cl 243,472

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値（円/㎡）	112,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度（戸/㎡）	0.001
標準補償費（円/戸）	44,000,000

Cf 23,000

控除額 0

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名（事業名）	面積（㎡）	国庫補助事業費等（百万
合計	0	0

195000

公共施設の現況整備水準

○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.15
推定公共施設面積（㎡）	195000

個別公共施設の積み上げ

	面積（㎡）	割合
道路		–
公園		–
広場		–
緑地		–
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額（Y1）	43301	百万円

0

下水道	0	円
区域面積（㎡）	1,300,000	
うち現況の供用済み区域面積（㎡）		
標準整備費（円/㎡）	3,600	

地域交流センター等の公益施設（建築物）	0	円
上限床面積（㎡）	9,400	
標準整備費（円/㎡）	492,000	

調整池	0	円
調整池の容積（m³）		
標準整備費（円/m³）	140,000	

河川	0	円
河川整備延長（m）		
標準整備費（円/m）	3,700,000	

住宅施設			0 円
建設予定戸数（戸）	超高層		
	一般		
	合計		0
標準整備費（円/戸）	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0	円
施設建築物の延べ面積（㎡）		
標準共同施設整備費（円/㎡）	132,000	

電線共同溝等	0	円
電線共同溝等延長（m）		
標準整備費（円/m）	680,000	

人工地盤	0	円
人工地盤の延べ面積（㎡）		
標準整備費（円/㎡）	5,300,000	

協議して額を定める大規模構造物等			0 円
大規模構造物等	協議状況	整備費（円）	

Cnを考慮した場合の交付限度額（Y2）	43301	百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

＜社会資本整備総合交付金＞

交付対象事業費	基幹事業(A)	2,178	百万円
	提案事業(B)	4	百万円
	合計	2,182	百万円

[1]式　α1=4(A+B)/5=	1,746	
[2]式　α2=10A/9=	2,420	
交付限度額(X)	872.8	百万円

- 交付要綱第5　3)式の適用〔提案事業2割拡充〕
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5　4)式の適用〔中活等の45%拡充〕
- 交付要綱第5　5)式・6)式の適用〔リノベ事業の50%拡充〕

交付限度額算定表（その2）

##

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定（詳細）

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。（百万円単位）

単位：百万円

○交付対象事業費（必ず入力）

		（百万円）				（百万円）	
交付対象事業費	基幹事業合計（A）	2,178.000	A （事業費）		1）式で求まる額（4/10*(A+B)）	872.800	① （国費）
	提案事業合計（B）	4.000	B （事業費）	⇒	2）式で求まる額（5/9*A）	1,210.000	② （国費）
	合計(A+B)	2,182.000	（事業費）		上記①、②の小さい方	872.800	③ （国費）
	提案事業割合(B/(A+B))	0.002			国費率（③÷(A+B)）	0.400	④ （国費率）

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3）式の適用〔提案事業2割拡充〕		（選択）	⇒	3）式で求まる額（5/8*A）	0.000	⑤ （国費）
・平成20年度二次補正予算の執行		（選択）		3）式の適用後（適用がある場合は3式反映）	872.800	⑥ （国費）
・4）式の適用〔中活等の45%拡充〕		（選択）		3）式適用後の国費率（⑥÷(A+B)）	0.400	⑦ （国費率）

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4）式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業（A’）		A’ （事業費）	③をA’に置き換えた額（A⇒(A−A’)+9/8*A’）	872.800	⑧ （国費）
	補正予算の執行額		（国費）	執行額を足した額	872.800	⑨ （国費）
			⇒	補正適用後（上記⑧、⑨の小さい方）	872.800	⑩ （国費）
				補正適用後の国費率（⑩÷(A+B)）	0.400	⑪ （国費率）

4）式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費（F）		F （事業費）	適用前の国費率（⑩÷(A+B)）	0.400	⑫ （国費率）
	適用対象となる交付対象事業費（A″+B″）	0.000	（事業費）			
	適用対象となる基幹事業合計(A″)		A″ （事業費）	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ （国費）
	適用対象となる提案事業合計(B″)		B″ （事業費）	適用後の国費率（⑬÷(A″+B″)）	#DIV/0!	⑭ （国費率）
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費（H）		H （事業費）	4）式適用後の限度額（⑫×F+⑭×H）	#DIV/0!	⑮ （国費）

※4）式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合（H21以降新規地区）は、Fの欄を記入せず、A″、B″を記入し、A″=A、B″=B、H=A″+B″=A+Bとなる。

⇓

拡充も考慮した交付限度額	872.800	⑯ （国費）

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	2,182.0	（事業費）	交付要綱第5に基づく交付限度額（⑯を1万円の位を切り捨て）	872.8	⑰ （国費）
			国費率	0.400	⑱ （国費率）

様式8　年次計画

（事業費：百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道路		東町4号線	燕市	20		20				
公園		須頃郷第2号公園	燕市	2					2	
		須頃郷第3号公園	燕市	3			3			
		須頃郷第6号公園	燕市	24	1	23				
		（仮称）東町公園	燕市	180	6	103	71			
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設		須頃郷一号排水路改修、調整池設置	燕市	1,949	26	588	214	414	479	228
高質空間形成施設										
高次都市施設										
中心拠点誘導施設										
連携生活拠点誘導施設										
生活拠点誘導施設										
高齢者交流拠点誘導施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型									
	沿道等整備型									
	密集住宅市街地整備型									
	耐震改修促進型									
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				2,178	33	734	288	414	481	228

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域創造支援事業										
事業活用調査	事業効果分析		燕市	3						3
まちづくり活動推進事業	公園整備住民懇談会	（仮称）東町公園	燕市	1	1					
計				4	1	0	0	0	0	3
合計				2,182	34	733.7	288	414	480.9	231.1
累計進捗率（%）					1.6%	35.2%	48.4%	67.4%	89.4%	100.0%

（参考）都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率（%）									

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

（単位：百万円）

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費					事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度		うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
事業活用調査 事業効果分析	当該計画の最終年度に、交付金対象事業の総括的な事業評価を行い、その後のまちづくりの方向性について検討を行う。	燕市	—	平成28年度	平成29年度	3	3	0	0	0	事業効果分析調査の委託費	
公園整備住民懇談会	整備公園について、住民懇談会を開催し、住民の意見集約を行い整備内容に反映させる。	燕市	—	平成24年度	平成24年度	1	1	0	0	0	住民懇談会開催の委託料	

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員 整備前 m	幅員 整備 m	整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備　考 注4)
＜道路＞				－											
東町4号線	～	地	燕市	－	改良	300m	5	7	2	0	27	25	側溝、舗装		
	～			－											
	～			－											
	～			－											
	～			－											

(参考)

＜関連事業＞															

＊本調書にはｱ)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、ｲ)関連事業道路のすべてを記載すること。
注1)＜道路＞については、街、地、国、他の別を記載。
＜関連事業＞については、国、主、一、市の別を記載。
ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの
注2)＜関連事業＞について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。
注3)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名
注4)備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人／日)、混雑度等を記載
(例)・道路改築:交通量(人／日)、混雑度等
・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等
＊交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。
＊不足する場合は適宜行を追加すること

[基幹事業(道路)]東町4号線のイメージ

東町4号線断面図

公園（都市公園補助事業採択要件外）

公園等名（*1）	種別等（*2）	事業主体（*3）	概要（面積(㎡)等）（*4）	交付期間内事業費（百万円）	交付期間内事業費内訳			備考（*5）
					設計費（百万円）	用地費（百万円）	施設整備費（百万円）	
須頃郷第2号公園	街区公園	燕市	3,115㎡	2			2	園路、駐車場
須頃郷第3号公園	街区公園	燕市	2,185㎡	3			3	遊具（ブランコ、滑り台、ジャングルジム等）
須頃郷第6号公園	街区公園	燕市	1,898㎡	24	1		23	植樹、駐車場、多目的広場
（仮称）東町（あずまちょう）公園	無	燕市	条例設置公園 16,327㎡	180	6		174	フェンス、側溝、遊具、広場、管理棟、駐車場
合計	―	―	―	209	7		202	―

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。
都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要（面積等）」欄に制度上の位置付け（条例設置公園等）を簡潔に記載。
*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。（間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。）
*4 「概要（面積(㎡)等）」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積（単位：㎡）等を記入すること。
*5 「備考」欄には整備する主な施設（園路、植栽、あずまや、体験学習施設等）を簡潔に記載。
*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

【基幹事業（公園）】（仮称）東町公園の整備イメージ

・地区住民が潤いのある生活環境としての憩いの場づくりのため、公園の整備を行い快適性を高めます。

管理棟

自由広場

複合遊具

展望台

【基幹事業（公園）】須頃郷（すごろごう）第2号公園の整備イメージ

・地区住民が潤いのある生活環境としての憩いの場づくりのため、公園の整備を行い快適性を高めます。

第2号公園（現況）

駐車場のイメージ
（第2号公園）

園路のイメージ

【基幹事業（公園）】須頃郷第3号公園の整備イメージ

第3号公園（現況）

ブランコのイメージ

滑り台のイメージ

【基幹事業（公園）】須頃郷6号公園の整備イメージ

第6号公園（現況）

駐車場のイメージ

あずまやのイメージ

地域生活基盤施設

単位：百万円

交付対象施設	施設名 （路線名等）	事業主体	概要 （面積、幅員、 延長、規模等）	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費		
								うち購入費	
緑地								－	
広場								－	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								－	
情報板								－	
地域防災施設	須頃郷（すごろごう）一号排水路	燕市	L=620m	432	17		415		1工区　320m 2工区　300m
地域防災施設	施設種別：調整池 須頃郷第2号公園	燕市	1200㎥	212	12		200		公園との兼用工作物 （都市公園法第5条2） 隣接地に三条市が 900㎥の調整池を設置
地域防災施設	施設種別：調整池 井土巻三丁目9号線	燕市	2,600㎥	448	14		434		
地域防災施設	施設種別：調整池 井土巻須頃線	燕市	2,400㎥	769	9		760		隣接地に三条市が 1,100㎥の調整池を設置
合計	－	－	－	1,861	52		1,809		

・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。（間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。）
・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式（立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等）、面積及び駐車台数を記入。
・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

【基幹事業（地域生活基盤施設）】須頃郷（すごろごう）1号排水路、調整池設置の整備イメージ

・浸水対策として公園用地・道路用地内等への調整池設置や、幹線排水路の水路改修により、雨水排水機能の強化を図る。

■公園用地内に設置する地下式調整池のイメージ

↑
地下式調整池のイメージ
（上部は公園等として整備）

■道路用地内に設置する地下式調整池のイメージ

■一号排水路の整備イメージ

JR線下の現況

JR線下のボックスカルバートのイメージ

現況水路

矢板水路整備のイメージ

燕地区（新潟県燕市） 整備方針概要図

目標	大目標：安心し、快適に暮らせる魅力あるまちづくり 目標1：浸水被害の少ない安全な市街地を形成する 目標2：快適に暮らすことのできる環境を整備する	代表的な指標	須頃郷地区の浸水予想区域面積 （ ha ）	38.5	（ 23年度） →	12.5	（ 29 年度）
			公園利用者数の増加 （ 人 ）	60	（ 23年度） →	170	（ 28 年度）

燕（つばめ）地区（新潟県燕（つばめ）市）

（都市再生整備計画事業）

１．　地　区　概　要

本地区は、燕市の東部に位置し、上越新幹線燕三条駅及び北陸自動車道三条燕インターチェンジの高速交通を中心とした商業地域及び住宅地域である。近年の集中豪雨時に浸水被害が発生し、水害に脆弱な状況である。また、地区内には公共施設跡地等が存在し、住民から憩いの場としての整備要望がある。

このことから、調整池の設置、幹線排水路改修を実施するとともに、地区内の公共用地に公園を整備し、安心し、快適に暮らせる魅力あるまちづくりを推進することとしている。

２．　計　画　内　容

所　　在　　地　：　新潟県燕市
事　業　主　体　：　燕市
面　　積　：　１３０．０ha
交　付　期　間　：　平成２４年度　～　平成２９年度
事　　業　　費　：　全体　2182.0 百万円
（国費：872.8 百万円）
事　業　内　容　：　調整池設置、排水路改修、公園　等